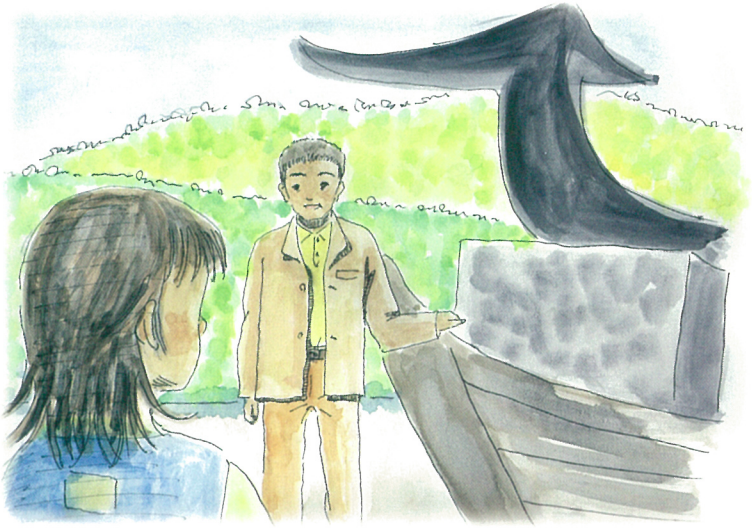
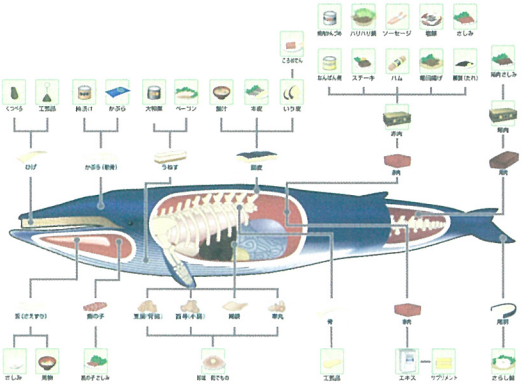
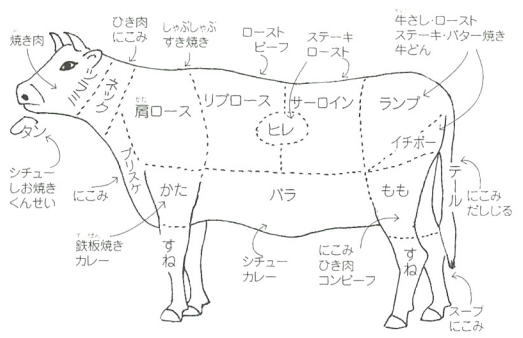


「昔から、くじらをとると、肉を食べるだけやなく、体の全部をムダにしないように、大切に使ってきたんやで。」
そう言うお父さんが次に案内してくれたのは、岬の灯台の近くにある「くじら供養碑」。
「これは、くじらたちへの感謝の気持ちをあらわしてつくられたんや。りょうしさんたちの、いただいた命をそまつにせんようにという思いやねがいがこめられているんやなあ。」
そうか。だからいつもうるさく言ってたんや、お父さん。
「いただきます」のこと。
「知ってるか、サトコ。命に感謝する碑は奈良にもあるんやぞ。」
え。本当、お父さん。

二学期が始まった。登校すると同じクラスのタカシがいた。タカシ、夏休みの間にずいぶん背が伸びたな。
「おはよう、タカシ。背が伸びた。」
「おはよう。へへ、毎日牛乳飲んでたからかな。あんまり好きやなかってんけどな。牛乳は子牛を育てるための栄養やろ。ぼくも牛みたいに大きくなりたいからな。牛乳パワーや。」



一般財団法人　日本鯨類研究所　提供



牛肉のしゅるいとおもなりょう理
「なかま　小学校中学年」奈良県人権教育研究会編より

やるな、タカシ。わたしも、おばあちゃんのところで食べた魚パワーで体強くなってるかな。

「タカシ、大和郡山市にある『屠畜慰霊碑』って知ってる。お父さんに聞いてんけど、『なかま』の本に出てるって。牛や豚など人間のために命をくれた動物たちに感謝するためのものなんやって。」

「おお、牛乳だって牛からもらってるもんなあ。」

教室で、タカシと「なかま」の本を見た。「屠畜慰霊碑」は大和郡山市にある食肉流通センターにあるそうだ。くじらの博物館で見たのと同じ。牛の命を大切にいただいていることが書いてあった。「なき声以外は、ムダにしない」だって。

屠畜慰霊碑

今日の給食は、魚。やっぱりちょっと苦手。でも、わたしに命をくれている生き物たち。それに、生き物たちの命を食べ物として届けてくれるたくさんの人たちがいるんだ。いつもより大きな声でわたしは言った。

「いただきます。」

○「くじら供養碑」を見て、サトコはどんなことを考えたのでしょう。

○ いつもより大きな声で「いただきます。」と言ったサトコは、どんなことを考えたのでしょう。

○ 食べ物を大切にしたい、感謝して食べたいと思ったことはありますか。

奈良県教育委員会
http://www.pref.nara.jp/18608.htm/